

(報告事項)

## 進めています！自己改革

今、私たちは「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」の3つの目標を掲げ、一定の成果を上げることがをめざして、農業・地域を支える大きな役割を果たす組織として自己改革を進めています。

自己改革について、十分な結果がのこせるように、その具体策を各事業年度の計画に盛り込んで進めており、その主だった取り組みと進捗状況を次のとおり報告します。

まだまだ、組合員の皆さんの期待・要望に、十分応えきれていない部分は多いと思いますが、これからも組合員の皆さんの声を聞き、真剣に議論して確かな方向性を見出す協同組合としての自己改革を進めていきます。

### 「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」につながる取り組み

#### 1. 担い手経営体の面積シェアの拡大

地域農業の担い手の育成・支援に向け、新規就農支援、法人設立支援、園芸導入提案等を実施し、担い手経営体の面積シェアの拡大を図りました。

※令和元年度目標の対全水田面積の62%に対し、70.2% (2,423ha)

#### 2. 生涯現役・一生農業運動の展開

多様な担い手の確保・正組合員数の維持・拡大に努めるべく、作物別講習会の開催、直売所生産者視察研修会の開催、直売所生産者との情報共有を図りました。

※目標の正組合員数3,000人以上(累計)に対し、3,080人

#### 3. 園芸生産の拡大

園芸重点品目の生産拡大を目指し、加工・業務用野菜の面積拡大及び予約相対取引の拡大を進めたほか、産地化を図るため、さつまいもベにはるか「はるかなた」のブランド名とロゴマークを決定しました。

※目標の重点品目作付面積100haに対し、103.6ha

#### 4. 米の品質向上と多様な品揃え

土づくり等の情報配信の徹底や、新之助・こしいぶき、ゆきん子舞・つきあかり等の多収性品種の業務用米等、コシヒカリ以外の銘柄誘導、多様な品揃えによる需給拡大を図りました。

※目標のコシヒカリ作付率60%以下に対し、69.4%

### 「地域の活性化」につながる取り組み

#### 1. 直売所を通じた農業と地域経済のパートナーづくり

イベント・キャンペーンの拡充により直売所の来店者の拡大に努めました。

また、イベント開催時における店頭募集や、ポイント還元方法を見直す等、総合ポイント制度を活かした組合員の加入促進を図りました。

※目標のポイント会員数5,800名に対し、6,588名

#### 2. 准組合員や地域住民にも参加いただける収穫感謝祭等JAイベントの開催

地産地消「春のランチフェア」や秋の「総合展示会」「お楽しみ収穫感謝祭」の開催や、広報強化の一環としてSNSを利用した情報発信を開始し、若者層をはじめ広く管内にJAをPRしました。

(報告事項)

## これまで、これからも、地域とともに JA胎内市は『総合事業』を展開します

- 農業者の所得増大、農業生産の拡大、地域の活性化に取り組みます。
- このため、協同組合の原点に立ち、組合員の皆さんとの話し合いを深めます。
- そして「総合事業だからこそ」の強みを活かし、地域にとってなくてはならない組織であり続けます。

協同組合とは、組合員の一人ひとりが力をあわせ、みんなの願いをかなえていく組織です。

JAは、農業者(正組合員)が組織する協同組合です。農業者の営農と生活を支えるため、様々な事業を総合的に展開しています。農業者の所得向上や地域農業の振興を目的に、農産物の販売や、信用事業(JAバンク)、共済事業(JA共済)などの様々な事業を、営農相談やくらしの相談活動を通じて、総合的に結びつけ、地域農業の振興や地域づくりに取り組んでいます。

農業者以外の方で、地域農業の発展や地域づくり、ニッポンの食を応援していただける方は、“地域農業の応援団”として准組合員として加入いただいております。

信用事業や共済事業などを含めた総合事業全体の収支のなかで実施しているからこそ、JAの経営基盤が安定し、営農指導員の配置や多額の農業施設投資が可能です。いわば、農業者と地域農業の応援団で、JAの総合事業を通じて地域の農業とくらし、みんなの願いをかなえる取り組みを支えあっています。

主な取り組みを次の3点により紹介します。

- 1. 園芸生産の拡大と販売力強化への支援** (園芸産地育成対策費：予算額 1,500 千円)  
【主な品目名 ねぎ・人参・大根・さつまいも・フェリッパ切花など/目標額 6 億円】  
園芸産地の維持拡大をすすめるため、重点品目を設定し新規作付けや生産拡大を行う農業者に対し支援いたします。また、販売力を強化するため、市場との連携強化の他、販促グッズなどを作成し産地PRに努めます。
- 2. 新たな担い手育成への支援** (組織・担い手育成費：予算額 750 千円)  
【相談会や研修会の開催】  
農業後継者・新規就農者の育成支援と担い手組織設立支援に向け、新規就農相談会や関係団体の支援制度を説明するための研修会を開催するとともに、新規就農による研修費の一部助成や担い手営農組織設立にかかる費用について、一定額を助成します。
- 3. 地産地消への支援** (米・大豆・麦消費拡大対策費：予算額 600 千円)  
【かかり増し経費負担割合 50%】  
学校給食統一米から胎内市産米に代わるかかり増し経費について、一定額を助成します。

なお、当JAの営農指導事業の主な取り組みは次の通りで、予算額は 63,539 千円となっています。

① 良質米安定生産対策費	670 千円
② 売れる米づくり推進費	600 千円
③ 園芸生産部会活動助成	2,000 千円
④ 畜産振興対策	1,150 千円
⑤ 農畜産物市場開拓費	500 千円
⑥ 交流活動推進費 等	670 千円